



トウカエデ 'ハナチルサト'

落葉／中高木／木本植物／園芸品種



科名 ムクロジ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い、雌雄異株

‘花散里’は葉の色合いが美しい園芸品種。春の新芽は真白、夏は黄緑～緑、秋には紅葉と多彩に変化する。このため、別名メイプルレインボーとも呼ばれる。芽吹きの際は、まるで桜の花でも咲いているように映る。トウカエデほど大きくならないので、庭園に配植しやすい。



新梢時



若葉時



成葉時



新葉と花：トウカエデ

Memo

花散里は源氏物語に登場する源氏の恋人。『橘の香を懐かしみほととぎす花散る里をたづねてぞとふ』

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	花 期				■ (花は目立たない)									
	果 実										■			
	紅葉・黄葉										■			
	施 肥	■ (痩せ地でなければ不要)												
	剪 定	■ (春先の活動が早いので2月上旬までがよい)												

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壌	乾	○		湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強	○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○		○		○		

ポイント

四季折々に葉の色が変化する。葉の色の異なる樹木や、常緑樹をバックにすると効果的。周囲の植栽により一段と引き立つ。日当りのよい場所と、肥沃な土壌を好むが、日陰地にも適応する。

剪 定

枝抜き剪定にて自然樹形を生かす。樹高を抑える場合は、大きく生長してからの剪定は樹形を損なうため、早めに芯止めする。枝が混み合うと虫害を受けやすくなるので、風通し良く維持するとよい。

病虫害

樹幹に穴をあけるテッポウムシ（カミキリムシの幼虫）の被害を受けやすい。幹下に木屑を見つけ次第対処する。新緑時はアブラムシの被害に注意する。アメリカシロヒトリが発生することがある。